



## 各部の名称と機能

各キーの機能説明

- 【PTT】送信キー**

送信するときに押します。離すと待ち受け状態になります。
- 【▲】【▼】キー**

【▲】：チャンネル番号が上がります。

【▼】：チャンネル番号が下がります。

  - メニューのオートチャンネルセレクトキー設定「SCn」が「on」に設定されているときは、1秒以上押すとオートチャンネルセレクトを開始します。
- 音量つまみ**

右に回す：音量を大きくします。

左に回す：音量を小さくします。
- 【⓪】キー**

押す(0.5秒以上)ごとに電源が入ったり/切れたりします。
- 【MENU】キー**
  - 押すとグループ番号を表示します。
  - 押しながら電源を入れると、メニューを表示します。
  - 押し続けるとキーロック機能が働きます。

表示部のアイコン説明	
表示	説明
	電池の残量(めやす)を表示します。
	受信中の電波状態を表示します。<電波メーター>
	キーロック機能が働いているときに表示します。
	ラウドネス機能が「on」に設定されているときに表示します。
	送信中に表示します。<送信アイコン>
	受信中に表示します。<受信アイコン>
	PTTホールドが「on」に設定されているときに点灯します。(送信中は点滅します)

	電池の残量(めやす)を表示します。
	受信中の電波状態を表示します。<電波メーター>
	キーロック機能が働いているときに表示します。
	ラウドネス機能が「on」に設定されているときに表示します。
	送信中に表示します。<送信アイコン>
	受信中に表示します。<受信アイコン>
	PTTホールドが「on」に設定されているときに点灯します。(送信中は点滅します)

## 操作のしかた

メニュー	
各機能の設定をします。	
<b>メニューの操作</b>	
<b>1</b> <b>【⓪】</b> を押し、一度電源を切る	
<b>2</b> <b>【MENU】</b> を押しながら <b>【⓪】</b> を押し、電源を入れる <p>メニューの設定画面が表示され、設定項目が点滅します。</p>	
	設定項目(点滅)
<b>3</b> <b>【▲】</b> または <b>【▼】</b> を押す <p>押すごとに設定項目が切り替わります。</p>	
<b>4</b> <b>【MENU】</b> を押す <p>設定値が点滅します。</p>	
<b>5</b> <b>【▲】</b> または <b>【▼】</b> を押す <p>設定値を選択します。</p>	
	設定値(点滅)
<b>6</b> <b>【MENU】</b> を押す <p>設定値が確定して、設定項目選択に切り替わります。</p>	
<b>7</b> <b>【MENU】</b> を1秒以上押す <p>メニューが終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>【PTT】を押しても終了します。</li></ul>	

表示	設定項目	設定値	初期値
bEP	ビーブ音	oFF/on	on
bty	バッテリー種別	AL/ni	AL
APo	オートパワーオフ	oFF/on	oFF
SCn	オートチャンネルセレクトキー（本機）	oFF/on	oFF
t-i	送信禁止	oFF/on	oFF
PHd	PTTホールド	oFF/on	oFF
R-t	PTTホールド自動復帰	oFF/on	oFF
Ctn	コールトーン音色	1/2/3/4/5/6/7/8/9/10	1
SqL	スケルチレベル	oFF/1/2/3	2
LUd	ラウドネス	oFF/on	oFF
SAV	バッテリーセーブ	oFF/on	on
REm	リモートキー	oFF/on	oFF
LoC	キーロック長押し時間	1/2/3/4/5	1
C-	チャンネル非表示	oFF/on/LoC	oFF
bLt	バックライト動作	oFF/ACt/Any/on	ACt

	キーを操作したときに鳴る確認音をビーブ音と見ます。この機能を「oFF」に設定すると、このビーブ音を鳴らさないようにできます。
<b>oFF</b>	ビーブ音は鳴りません。
<b>on</b>	ビーブ音が鳴ります。

- 以下の警告音、予告音などはビーブ音を「oFF」に設定しても鳴ります。
  - 通信時間制限予告音
  - オートパワーオフ警告音
  - 送信禁止音
  - コールトーン
  - バッテリー減電圧警告音

## 操作のしかた

通信操作			
<b>1</b> <b>【⓪】</b> を押す(0.5秒以上) <p>電源が入り、チャンネル番号が表示されます。</p>			
<b>2</b> 音量つまみを半分ぐらい右に回す			
<b>3</b> <b>【▲】【▼】</b> を押して通信するチャンネル番号に切り替える <p>【▲】を押すとチャンネル番号が上がります。<div>【▼】を押すとチャンネル番号が下がります。</div></p>			
	チャンネル番号		
<b>【▲】</b> または <b>【▼】</b> を押し続けると、押している間連続してチャンネル番号が切り替わります。			
<b>9</b> チャンネル機と通信する場合 <p>h1～h9に合わせず。</p>			
<b>11</b> チャンネル機と通信する場合 <p>1～11に合わせず。</p>			
<b>4</b> <b>【PTT】</b> を押しながら話す <p>&lt;送信アイコン&gt;が点灯し、送信状態になります。</p>			
	点灯		
マイク部から口を5cmぐらい離してお話してください。			
<b>5</b> 話し終わったら <b>【PTT】</b> から指を離す <p>待ち受け状態になります。</p> <p>受信すると&lt;受信アイコン&gt;&lt;と&lt;電波メーター&gt;が点灯します。</p>			
	点灯		
音量つまみを回し好みの音量に調整してください。			
<電波メーター>のレベル表示について			
電波状態のめやすを3段階で表示します。			
	3本点灯(強電界)	2本点灯(中電界)	1本点灯(弱電界)
<b>6</b> 手順4と5の操作を繰り返して、通信する <p>トランシーバーを使用しないときは<b>【⓪】</b>を押し(0.5秒以上)電源を切ります。</p>			

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

- 「on」に設定すると、が表示され、送信中は点滅します。

	送信禁止
<b>oFF</b>	送信動作を許可します。
<b>on</b>	送信動作を禁止します。

	送信禁止
<b>oFF</b>	送信動作を許可します。
<b>on</b>	送信動作を禁止します。

- 「on」に設定すると、が表示され、送信中は点滅します。

	送信禁止
<b>oFF</b>	送信動作を許可します。
<b>on</b>	送信動作を禁止します。

- 「on」に設定すると、が表示され、送信中は点滅します。

	送信禁止
<b>oFF</b>	送信動作を許可します。
<b>on</b>	送信動作を禁止します。

	送信禁止
<b>oFF</b>	送信動作を許可します。
<b>on</b>	送信動作を禁止します。

### グループ番号の設定

他のグループと同じチャンネルで通信している場合、お互いの声が混ざり合って通信しづらくなります。仲間同士でグループ番号を設定しておく、混信がなくなって快適に通話ができます。

<b>1</b> <b>【MENU】</b> を押す <p>グループ番号設定画面になります。</p>	
<b>2</b> <b>【▲】</b> または <b>【▼】</b> を押す <p>グループ番号が切り替わります。</p>	
設定範囲 <p>oFF、1～38</p> <ul style="list-style-type: none"><li>【▲】または<b>【▼】</b>を押し続けると、押している間連続してグループ番号が切り替わります。</li></ul>	
	グループ番号(点滅)
<b>3</b> <b>【MENU】</b> を押す <p>または10秒間何もキーを操作しないと、グループ番号設定が終了します。</p>	

### オートチャンネルセレクト

自動的にチャンネル内をスキャンして、グループ番号が一致したチャンネルを見つけるとそこで停止して受信する機能です。スキャン中に**【PTT】**を押して送信すると、同じグループ番号の空いているチャンネルが設定され送信します。

- オートチャンネルセレクトを使用する前に以下の設定を確認します。
  - グループ番号の設定：1～38
  - オートチャンネルセレクトキー設定:「on」「SCn」（本機の**【▲】**、**【▼】**を使用するとき）
  - リモートキー設定：「on」「REm」（オプションのリモート対応マイクロホンを使用するとき）

- 本機の**【▲】**、**【▼】**を1秒以上押す、またはオプションのリモート対応マイクロホンの**【2】**を1秒以上押す「SCn」と表示され、スキャンを開始します。

	グループ番号
--	--------

- 【PTT】**を2～3秒押し続ける

空いているチャンネルで10秒ほど停止します。停止中に**【PTT】**を押したまま通常よりゆっくり呼びかけます。呼びかけが終わったら**【PTT】**から指を離し、相手の方がそのチャンネルで応答してくるのを待ちます。

- <受信アイコン>が消えてから、**【PTT】**を押して応答する

- オートチャンネルセレクトを解除する
- 本機の**【▲】**、**【▼】**、**【MENU】**を押す。または、オプションのリモート対応マイクロホンの**【2】**を1秒以上押す

表示しているチャンネルで待ち受け状態になります。

- 10秒以内に応答してください。10秒以上送信・受信がないと、スキャンを再開します。
  - オートチャンネルセレクト中にモニター機能をONにするとスキャンが一時停止して、チャンネルをモニターできます。
  - グループ番号がoFFのときは、オートチャンネルセレクトキーは動作しません。

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

- グループ番号を設定している場合は、「スケルチレベル」が「oFF」に設定されていても、グループ番号が一致する信号を受信しなければ、スケルチは解除されません。

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

- 「on」に設定すると、「LOUD」が表示されます。

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

- バッテリーセーブ「on」設定時は、消費電力を抑える動作を繰り返しているため、受信音声の始めが途切れる場合があります。音声の途切れが気になる場合は、「oFF」に設定してご使用ください。

- バッテリーセーブ機能が働いているときに、同じグループを受信すると、バッテリーセーブ機能は自動的に解除されますが、違うグループを受信している場合は、バッテリーセーブ機能は解除されません。このときに受信信号の確認動作を繰り返すため、<受信アイコン>が点滅することがあります。
- モニター中やオートチャンネルセレクト中は、バッテリーセーブ機能は動作しません。

	設定したチャンネル番号がすでに使用されている場合、相手の方と共に、他のチャンネル番号を設定してください。
	トランシーバー間の距離が近い(10m以内)と「h7と1」、「h8と2」、「h9と3」のチャンネル間で混信をおこす場合があります。多数のグループが近距離で通信する場合は、同一バンド(h1～h9または1～11チャンネル)内で通信するか、グループ番号を設定して混信を軽減してください。

- リモートキー設定が「on」のときは、以下の機能が動作します。
  - リモートキー【1】:モニター
  - リモートキー【2】:オートチャンネルセレクト
  - リモートキー【3】:コールトーン呼び出し

- リモートキー設定が「on」のときは、以下の機能が動作します。
  - リモートキー【1】:モニター
  - リモートキー【2】:オートチャンネルセレクト
  - リモートキー【3】:コールトーン呼び出し

### モニター

電波が弱いときにスケルチ(雑音消去回路)を強制的に開き、信号の状態を一時的にモニターすることができます。また、音量を調整するときにも使用できます。

- モニターする
  - 【⓪】**を押し、一度電源を切る
  - 【▼】**を押しながら**【⓪】**を押し、電源を入れる

スケルチが開いて、<受信アイコン><と電波メーター>が点灯します。

	点灯
	点灯

- 信号を受信していないときは“ザー”という雑音ができます。音量レベルを調整するときのめやすにもできます。

- モニターを解除する
  - 電源を入れ直します。

- モニター機能を使用するときは、音量レベルに注意してください。特にイヤホンを使用しているときは、“ザー”というノイズを大きい音量で聞くこと耳に障害を受けることがあります。

オプションのリモート対応マイクロホンを接続している場合は(リモコンキー設定「REm」を「on」に設定してください。)

- オプションのリモート対応マイクロホンの**【1】**